

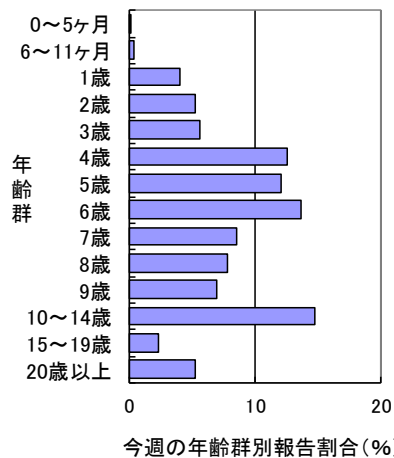
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2017年7週の県全体の定点当たり報告数は、6週の3.56から増加し4.04となった。過去4年の同時期と比較し多い。例年、春にかけて多い状態で推移するため、今後の流行状況に注意が必要である。

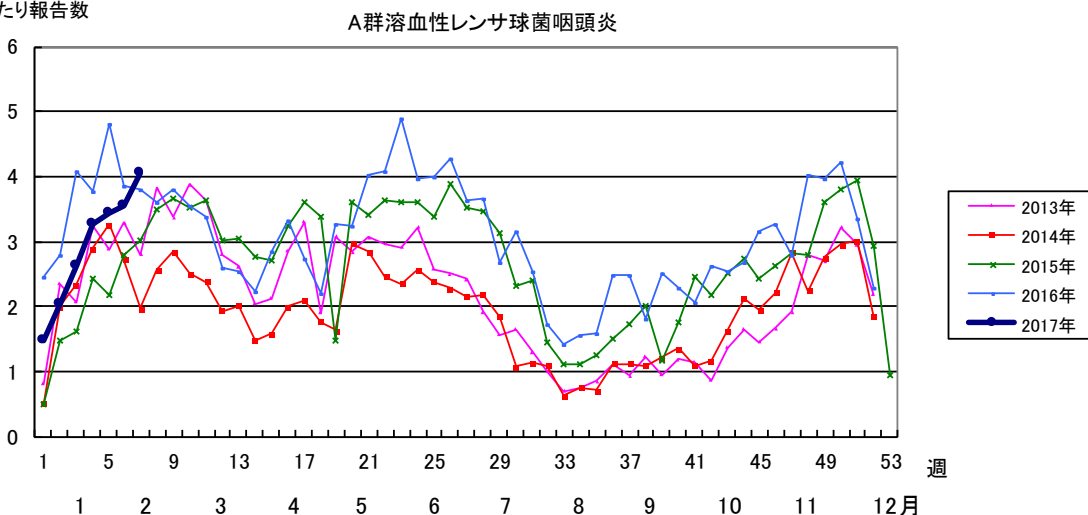
保健所別では、16保健所中12保健所管内で増加し、柏市(8.89)、長生(8.00)、野田(7.00)、印旛(5.81)、船橋市(5.45)、君津(4.63)、香取(4.33)、海匝(4.25)が多い。

2017年7週に報告された546例の性別は、男性273例(50.0%)、女性273例(50.0%)で、年齢群別では、4～6歳が210例で38.5%を占めていた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



定点当たり報告数



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

